

順位	登録日	番号	報告者名	一覧名	生物由来成 分名	原種科名	原産国	寄生区分	文獻	文献 著者名	論文題目	論文用 標	論文出典	概要
257	2007/06/15	70258	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分	有	細菌感染	JAMA 2006; 296: 1997-2003	ABC Newsletter 2007年4月13日 21 ページ	70257に同じ	2004年10月、神奈川県赤十字血液センターは輸血後HBV感染疑い症例の報告を受けた。供血当時の検査では50プールNAT陰性だったにも関わらず、凍結供体がHBV個別NAT陽性となつた供血者を特定した。この供血者の凍結血液40検体について個別NATを行つたところ、陰性と陽性があつた。含蓄6例の輸血後HBV感染が特定された。この供血者におけるHBV DNAの量は50コピー/mL未満から200コピー/mLの間で増減していた。供血前に個別NATを行つたとしても、全てのHBVキャリアを排除できることが示された。
258	2007/06/15	70258	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分	有	細菌感染	Blood 2006; 108: Abstract #4144		70257に同じ	2004年10月15日にメリーランドで放射性医薬品注射剤を用いて心筋灌流試験を行つた患者16名に発生した急性HCV感染について調べた。患者はある薬局で調整された1つのバイアルの注射剤を投与された。その薬局では、注射剤を調製する12時間前に、HCVおよびHIVに罹患した患者の血液の放射線標識白血球測定を行つた。この患者から得られたHCVのシーケンスは、当該16症例の配列とほぼ同一であった(相同期性97.8%~98.5%)。生物由来製剤を取り扱う放射性医薬品業者は、適切な無菌操作を行うべきである。